

評価シート（事業所用）



あなたの勤め先の放火火災に対する危険度のチェックシート

以下の質問に答えて、放火火災に対するご自分の勤務先の危険度をチェックしてみましょう。

質問		回答
1	事業所周辺の道路には、街路灯が設置されていますか？	はい いいえ
2	事業所周辺の道路は、深夜でも人通りがありますか？	多少・かなりある ほとんどない
3	事業所周辺の道路は、主として近隣者だけが通行する道路ですか？	はい いいえ
4	事業所付近で放火が発生したこと（聞いたこと）がありますか？	発生したことがない 発生したことがある
5	事業所付近で暴力事件、ひったくり、痴漢等が発生したこと（聞いたこと）がありますか？	発生したことがない 発生したことがある
6	事業所の出入業者を確実に把握し、出入り管理を徹底していますか？	はい いいえ
7	使用していない出入口や物品倉庫等の施錠管理は徹底していますか？	はい いいえ
8	深夜でも常夜灯などで入口を明るくしていますか？	はい いいえ
9	事業所の周囲や、トイレ、階段等、死角となりやすい箇所の巡回警備は実施していますか？	はい いいえ
10	特に夜間や休日の巡回警備を実施していますか？	はい いいえ
11	侵入監視センサー、熱線センサー付き照明器具のいずれかを設置していますか？	はい いいえ
12	事業所の周囲等、他人の目の届く所に、新聞や雑誌等の燃えやすいものは置いてありませんか？	置いていない 置いている
13	ごみは回収日の決められた時間帯に出すようにしていますか？	はい いいえ
14	トイレや階段等、事業所内で死角となりやすい箇所を定期的に巡回し、可燃物を整理・除去する体制はありますか？	はい いいえ
15	郵便受けの郵便物等は早目に取り込んでいますか？	はい いいえ
16	やむを得ず屋外に製品や材料等を置く場合、部外者の目に触れないよう、それらを防災シートで覆っていますか？	はい・可燃物を置かない いいえ
17	自動火災報知設備が設置されていますか？	はい・設置義務がない いいえ
18	定期的に消防訓練を実施する等、従業員への指導・教育を行っていますか？	はい いいえ
19	防火対象物や消防用設備等の点検を定期的実施し、消防署に届け出ていますか？	はい いいえ
20	消防用設備等（例：消火器）の使用方法は、従業員全員に徹底していますか？	はい いいえ
21	付近に監視カメラ等の放火火災対策機器は設置していますか？	はい いいえ・知らない
22	防火管理者を選任し、消防署への届け出は行ってありますか？	はい・届出義務がない いいえ・分からない
23	事業所で定める消防計画の役割分担は、全ての従業員に周知させていますか？	はい いいえ
24	出入口や休憩室に、放火火災に関する注意を呼びかけるポスターや立て看板を掲示していますか？	はい いいえ
25	各職場の火元責任者レベルで、放火火災予防対策を徹底するための会議を定期的開催していますか？	はい いいえ
26	地域町内会等と連携し、放火火災予防対策用の広報を実施していますか？	はい いいえ

全ての回答欄にチェックを入れ終わりましたら、「採点票」を用いて採点してみましょう。

「採点票」へ進む

採点票（事業所用）

先ほどの評価シート（事業所用）でチェックした回答内容と、下表の回答内容が一致したものが得点することができます。

得点したものについては配点欄に 印を付け、そして、 印で囲んだ得点を中項目ごとに集計してみましょう



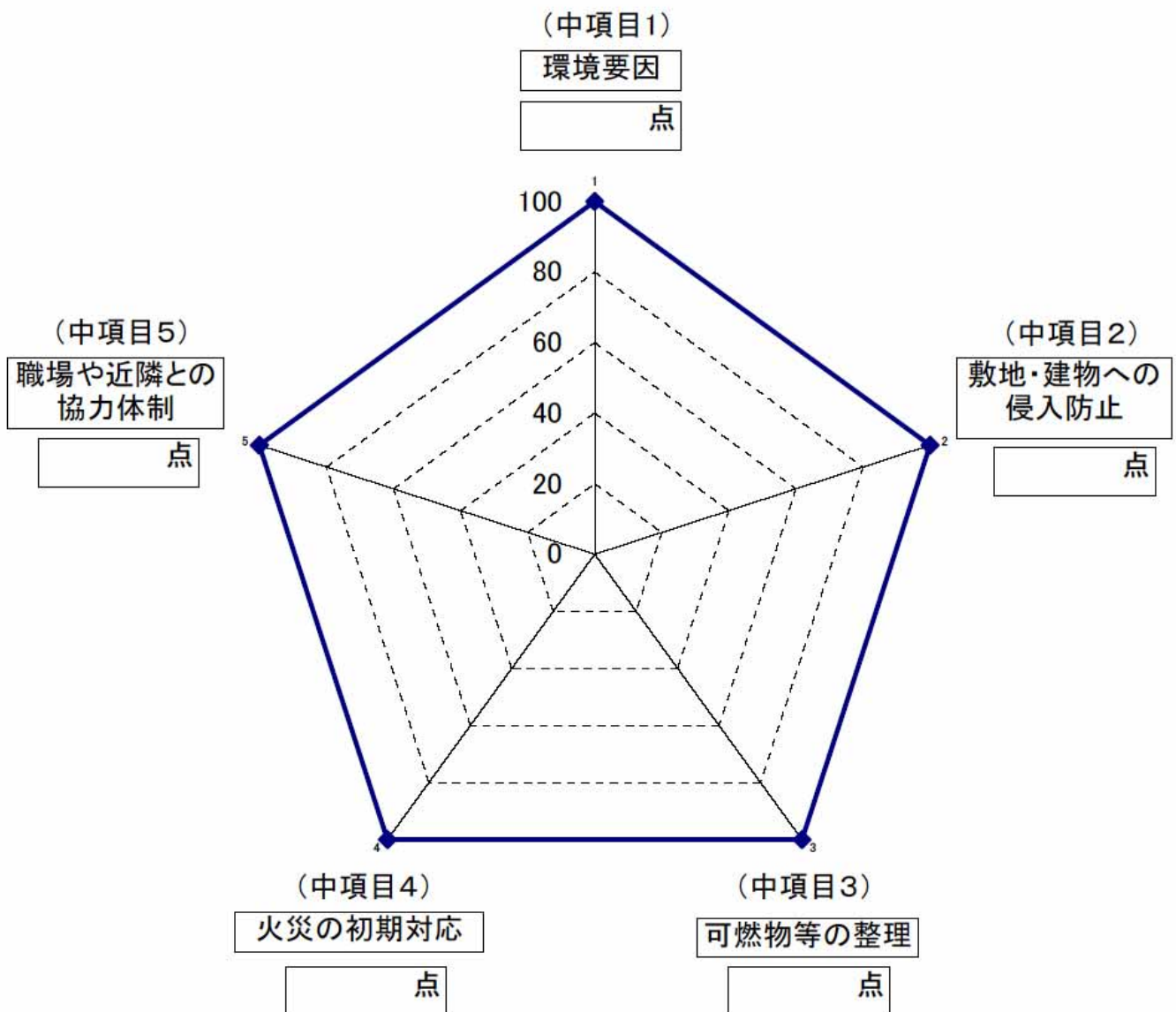
中項目	質問番号 (小項目)	回答内容	配点	中項目ごとの 合計点
1 環境要因	1	はい	20	点
	2	多少・かなりある	19	
	3	はい	25	
	4	発生したことがない	18	
	5	発生したことがない	18	
2 敷地・建物への 侵入防止	6	はい	19	点
	7	はい	16	
	8	はい	18	
	9	はい	18	
	10	はい	17	
	11	はい	12	
3 可燃物等の整理	12	置いていない	24	点
	13	はい	21	
	14	はい	17	
	15	はい	20	
	16	はい・可燃物を置かない	18	
4 火災の初期対応	17	はい・設置義務がない	17	点
	18	はい	21	
	19	はい	21	
	20	はい	24	
	21	はい	17	
5 家族や近隣との 協力体制	22	はい・届出義務がない	20	点
	23	はい	16	
	24	はい	23	
	25	はい	21	
	26	はい	20	

中項目ごとの合計点を記入し終えたら、「評価結果票」を用いてレーダーチャートに中項目ごとの合計点を転記し、自己評価してみましょう。 「評価結果票」へ進む

評価結果票（事業所用）

あなたの勤め先の放火火災に対する危険度 評価結果

採点結果票の中項目の合計点をレーダーチャートに転記してみましょう。そして、中項目ごとの合計点の位置を線で結んでみましょう。



得点の低い中項目については「対策集例(事業所用)」を参考にして、有効な対策を講じましょう。

「対策集例」へ進む

対策集例（事業所用）

あなたの事業所における放火火災の防止に向けた対策集例

中項目	対応策の具体例
1. 環境要因	<p>自治会と連携して行うパトロールに努めて参加する。 地域における一声運動に心掛けるよう、従業員に指導する。 周辺の街路灯設置や玉切れの交換を自治会等に要望する。 不審な通行人に気付いたら動向に注意するよう、従業員に指導する。</p>
2. 敷地・建物への侵入防止	<p>事業所の出入口や倉庫・車庫・物置等は、夜間の施錠管理を徹底する。 夜間・休日でも容易に開錠されないための防犯ブザーを設置する。 出入管理体制を確立し、不法侵入を防止する。 出入口や通用口をある程度特定し、監視体制を強化する。 勤務時間内に無人となる空室、物品倉庫、更衣室等は施錠する。 死角となる箇所に侵入監視センサー等を導入する。 これらの機器が作動した場合の初動対応について把握しておく。 地域連携の警戒パトロールに参加する。 事業所の入口に常夜灯を設ける等、照明器具の導入を進める。 夜間や休日の巡回警備を行う。 建物外壁の不燃化と補修を行う。</p>
3. 可燃物等の整理	<p>事業所の周囲や廊下・階段に死角をつくる要因となる可燃物等の整理整頓を行う。 止むを得ず屋外に廃材やごみ等の可燃物を置く場合、防災シートで覆う。 ごみの回収日を把握し、回収時間帯に合わせて出す。 ごみ回収のルールを徹底する。 事業所の周囲やトイレ、階段等、死角となりやすい箇所について、可燃物の整理除去を定期的に行う。 新聞や受信文書等はこまめに取り込む。 郵便受けから新聞やチラシがはみ出さないよう、業者に依頼する。</p>
4. 火災の初期対応	<p>自動火災報知設備等が発報した場合の初動対応を徹底しておく。 消火器や屋内外の消火栓による消火方法を徹底する。 定期的に消防訓練を実施する。 消防署・自治会・町会等と連携して行う消防訓練に参加する。 必要に応じて放火監視機器の導入を検討する。</p>
5. 職場や近隣との協力体制	<p>近隣事業者や自治体との交流を深め、お互いの放火防止の工夫など話し合っておく。 出入口や休憩室に、放火火災予防を注意喚起するポスター等を掲示する。 町会・自治会を母体とした自主防災組織への参加意識を高める。 防火管理者・防火責任者・保安責任者等を選任している場合は、常に職責が果たせるよう研鑽する。 地域で開催される防火講習会や消防訓練等に参加し、放火火災予防への関心を高める。 全従業員やテナント関係者に対して、放火火災予防を含めた防火防災の指導・教育を行う。 広報資料やパンフレットを従業員に配布し、防火意識の向上を図る。 火元責任者レベルで放火火災予防対策に関する会議を定期的開催する。</p>